

# 宮城の将来ビジョン「富県宮城の実現」のポイントと概要

## ポイント

- グラフィックを多用し、広く理解してもらえらることを企図。
- 産業経済に深く関わる現状の分析と課題の抽出を簡潔に示し、施策展開の意図や施策体系について解説。
- 官民一体となった推進体制や共創方策、「富県宮城の実現」に関する進行管理について言及。

## 3 宮城県経済の現状と課題

### (1) 現状

- ① **本格的な人口減少社会の到来**
  - ・域内総需要の減少、労働力の減少
  - ・人口の年齢構成の変化→個人消費、労働の質的变化
  - ・地域間格差拡大の懸念
  - ・全国に対する東北の人口減少の早さの本県への影響
- ② **交通の発達と情報化の進展による経済のボーダーレス化**
  - ・経済活動を規定する主要な環境要因である「時間」「空間」「知識」という概念の劇的な変貌
  - ・国際分業体制の再編の伴う地域経済への影響(加工組立工場等の海外移転、受注条件の高度化等)
  - ・流通環境の変化に伴う業態変革の社会的要請
  - ・東北における宮城の拠点性低下の各産業の及ぼす影響
- ③ **分権型社会の進展と厳しい財政状況**
  - ・住民ニーズの多様化、複雑化→行政サービスの変化
  - ・厳しい財政状況→施策の一層の選択と集中

### (2) 課題

- ① **労働力の確保と労働生産性の向上**
  - ・女性、高齢者等の就業促進・環境整備等による労働力率の向上
  - ・個々人の能力向上・開発
- ② **経済環境の変化に対応した経営の再構築**
  - ・あらゆる産業・業種・業態において、時代の変化に対応した事業のあり方を見つめ直して、経営を再構築
- ③ **消費構造の変化への対応**
  - ・消費者ニーズの多様化、グローバル化に伴う国際競争の激化などの需給構造の変化への的確な対応
- ④ **産業振興のより効果的な展開**
  - ・厳しい財政事情を踏まえた効果的な産業振興施策の展開

## 4 課題解決のキーワード

### (1) イノベーションの創出による生産性の向上

- ・経済成長は、「労働力」、「資本」、「生産性」の3要素に左右されるが、今後の動向を踏まえると労働力や設備投資の伸びに過度な期待はできないため、これからの経済活性化は、生産性の向上が最も重要
- ・生産性を上げるためには、イノベーションを軸として労働力の確保や投資の促進を図り、それがさらに生産性を向上させていくという経済成長スパイラルの実現がポイント

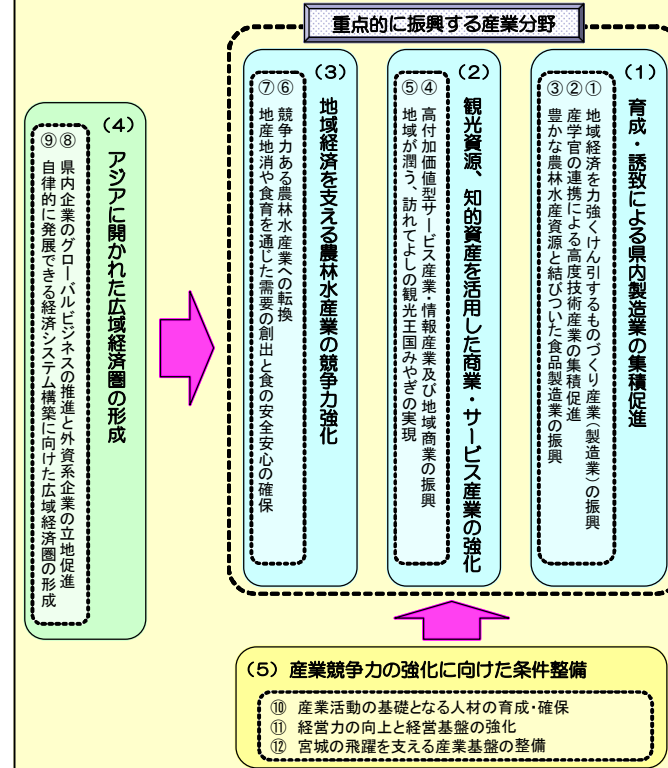
### (2) 選択と集中

- ・宮城県が持つ特性や優位性(集積がある電気機械・電子部品・自動車関連・食品等の製造業や商業・サービス業、蓄積された技術、地理的状況、高速道路・港湾等の社会基盤、大学等の知的インフラ等)を最大限に活かした取組が必要
- ・財政状況や社会潮流を踏まえた上で、「選択と集中」により効果的な産業振興施策を展開することが重要

## 5 「富県宮城の実現」に向けた基本方針と取組

### 【ポイント】

- 「選択と集中」により重点的に振興する産業分野を選定
- 「イノベーションの創出」を念頭にした戦略的な施策展開



### (2) 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化

- ・県経済で最も規模の大きい商業・サービス業の振興は重要な課題
- ・特に経済波及効果の大きい観光関連産業の振興は県経済成長のカギ→「観光王国」としての体制整備を戦略的に展開
- ・「対事業所サービス業」「対個人サービス業」の新事業創出支援の基盤強化
- ・商業・サービス産業全体の付加価値額の2割増を目指す(観光客入込数2割増、情報関連産業売上3割増、健康福祉サービス業の大幅成長)

### (3) 地域経済を支える農林水産業の競争力強化

- ・農林水産業は地域経済の主要な産業であるが、時代の変化に即した構造転換が必要
- ・市場ニーズを重視した生産・流通構造への転換、経営力向上の促進、農林水産物のブランド化推進、他産業との連携等により、競争力ある農林水産業へ転換
- ・食の安全性と信頼の生産体制の確立と県内消費拡大に向けた生産・流通体制の整備

### (4) アジアに開かれた広域経済圏の形成

- ・成長を続ける東アジア等を中心にした市場開拓に向け、県内企業の海外販路開拓を積極支援
- ・経済のグローバル化に対応し、各県との連携・機能分担による広域経済圏を形成
- ・競争力強化に向けた外資系企業等の立地促進

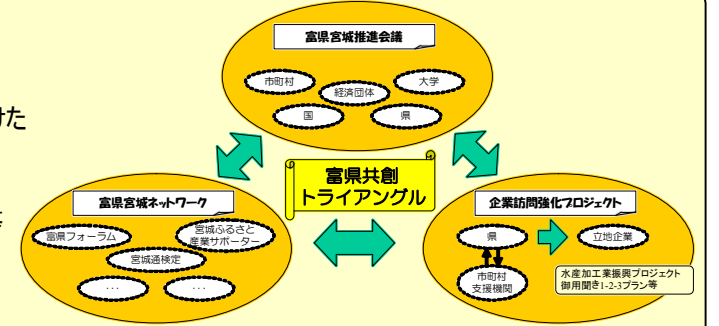
### (5) 産業競争力の強化に向けた条件整備

- ・産業の成長には、人材の育成・確保が最も重要
- ・学校教育と連動した産業人材の戦略的な育成・確保と女性・高齢者等の就業促進
- ・経営力、生産・販売力強化の支援充実と資金調達環境等の整備推進
- ・交通・物流基盤の整備、港湾の機能強化と利用促進、広域道路ネットワーク整備

## 6 推進体制

### (1) 富県共創推進体制の整備

- 「富県共創推進会議」の設置
  - 産学官が有機的な連携の下で、富県に向けた主体的な取組について情報交換等を行う
- 県民参加型の取組のネットワーク化
  - 宮城通検定、宮城ふるさと産業サポーター等
- 「企業訪問強化プロジェクト」の展開

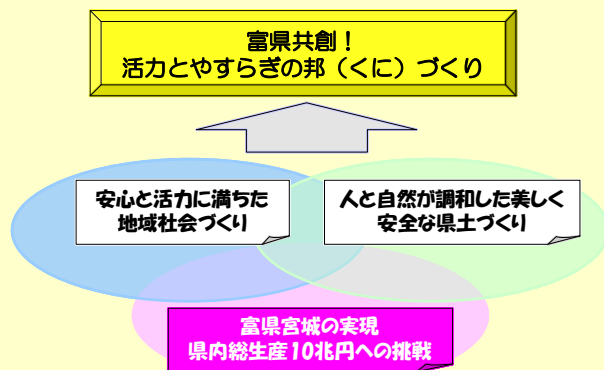


### (2) 進行管理

「宮城の将来ビジョン推進本部」や「富県共創推進会議」等の場を通じて、進行管理

## 1 本書の作成にあたって

「宮城の将来ビジョン」における県政運営の理念「富県共創！活力とやすらぎの邦づくり」の実現に向けた政策推進の基本方向の1つである「富県宮城の実現」という県民共有の目標達成に向けて、認識を一つにするために作成したもの。



## 2 「富県宮城の実現」とは

### (1) 富県宮城の意義

宮城の将来像を実現するための必要十分条件としての「産業振興による県経済の成長」＝「富県」の実現は、県民共有の課題。

### (2) 富県宮城の目標

県内総生産を、10年後には10兆円以上を目標とする。県民一丸で取り組み、県の優位性を十分発揮すれば、実現可能と思われる。

